

ユーザから見たPloneと、 エンタープライズでの導入事例

Masaki NIWA
mniwa@jscom.co.jp / @masaki_niwa
2011-04-27

自己紹介

- ジェイズ・コミュニケーションという会社のマーケティング部に所属しています。
- おもな業務はプロダクトマネジメント、マーケティングコミュニケーション、デザインディレクション、ウェブマスター、公式つぶやき係 (@jscom_pr)。
- Plone研究会には昨年のWPD以降からちょこちょこ顔を出しています。
 - 今年は全回参加目標でしたがすでに欠席してしまいました.....
- 「とりあえずなんとかできるんじゃない?」というのが考え方の根底にあります。
- サーバ構築などのスキルはほとんどないです。
 - ドキュメントなどがあれば理解しながら進められる程度

PLONE採用の経緯

導入前の公式サイト

- Apacheで完全な静的な構成
- 誰がオーナーか不明
 - 実更新作業は外注していたようだが、依頼方法なども不明 (後日調査して確認)
- どんな情報を出したいのか不明
 - 扱っている製品がほとんど載っていない
 - アップデートされていない
- 小さなウェブサイトなのに管理が3社に分散していることが判明
 - 弊社、子会社、外注先
- コンテンツが古い
- けっきょく、ビジネス上の武器になっていない
 - 「あとでうちのウェブ見てくださいね」なんて死んでも言えない

Plone採用のきっかけ

- 元CTOから「おもしろいCMSがある」と紹介を受けたのが直接のきっかけ。
 - 曰く「XOOPSとPloneならPloneのほうがいいんだよね」とのこと。根拠は知りません
- 前職でもウェブマスターをしていたが、CMSは使ったことがないのでとりあえず触ってみることに。
 - 2000年ごろの話。SSIでやってました
 - 元CTOから寺田さんたちの執筆された書籍をポンと渡されました
- ほかを検討することも考えたが、試してみたらそれなりに使いやすかったのでそのまま採用決定。
 - なので、ほかのCMSは検討していません……
- Ploneの第一印象は「かっこわるい」。以前のデフォルトテーマはお世辞にもいいとは言えないです。

Plone採用のポイント

- 比較的かんたんであること。
 - こだわれば複雑になるが、ふつうプラスアルファ程度であればなんとかなる感じ
- 動的に生成されること。
 - SSIを使っていた人間からするとすばらしいこと
- 拡張性があること。
 - さまざまなプロダクトによって標準では不足する部分が補える。なければ作る (作ってもらう) こともできる
- メンテナンスされていること。

レガシーサイトからの移行

- デザインを一新
 - 外注から内製に変更
- ほぼ全ページを一から制作
 - 製品情報、企業情報などはアップデートされていないため使いものにならず
 - サポートコンテンツはナレッジベースなどはコピペで移動。ファームウェアダウンロードなどは一から制作
 - そのほかのコンテンツもほぼ一から制作
- 500ページ程度を1ヶ月以内に移行

デザイン比較

www.jscom.co.jp

The screenshot shows the old website design for J's Communication. The browser address bar displays 'http://www.jscom.co.jp/'. The page features a blue header with the J's Communication logo and a navigation menu including 'ニュース', '製品情報', 'サポートサービス', '会社情報', '投資家情報', and '採用情報'. A large banner image shows a smiling man in a suit with the text '最先端の情報ネットワーク・セキュリティを支えます。 Network & Security Solution'. Below the banner, there are sections for '製品検索' (Product Search) with filters like 'メーカー別一覧' and 'カテゴリから探す', '製品サポート' (Product Support) with links to various support pages, 'What's new' (New News) with a list of recent updates, and 'IR topics' (IR Topics) with a link to financial reports.

jscom.jp (第一次)

The screenshot shows the new website design for J's Communication. The browser address bar displays 'http://10.1.111.10.81/'. The page features a blue header with the J's Communication logo and a navigation menu including '製品情報', 'サポート', 'イベント', 'ニュース', 'ジェイズ・コミュニケーションについて', and '採用情報'. A large banner image shows a Juniper SSG Firewall with the text 'Juniper SSGファミリ'. Below the banner, there are sections for 'ホーム' (Home) with a list of links, '最近の変更' (Recent Changes) with a list of updates, and 'ニュースリリース' (News Release) with a link to a press release about the Trust@Mail series.

導入と運用

導入から現在まで

	2006		2007				2008				2009				2010				2011	
	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
評価・検証	■	■																		
開発				■	■				■	■	■	■	■	■	■		■	■		
テスト					■						■				■				■	
Plone 2.5	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■					
Plone 3.3															■	■	■	■		
Plone 4																		■	■	■

サイトの構成

Apache

Varnish

8080

8080

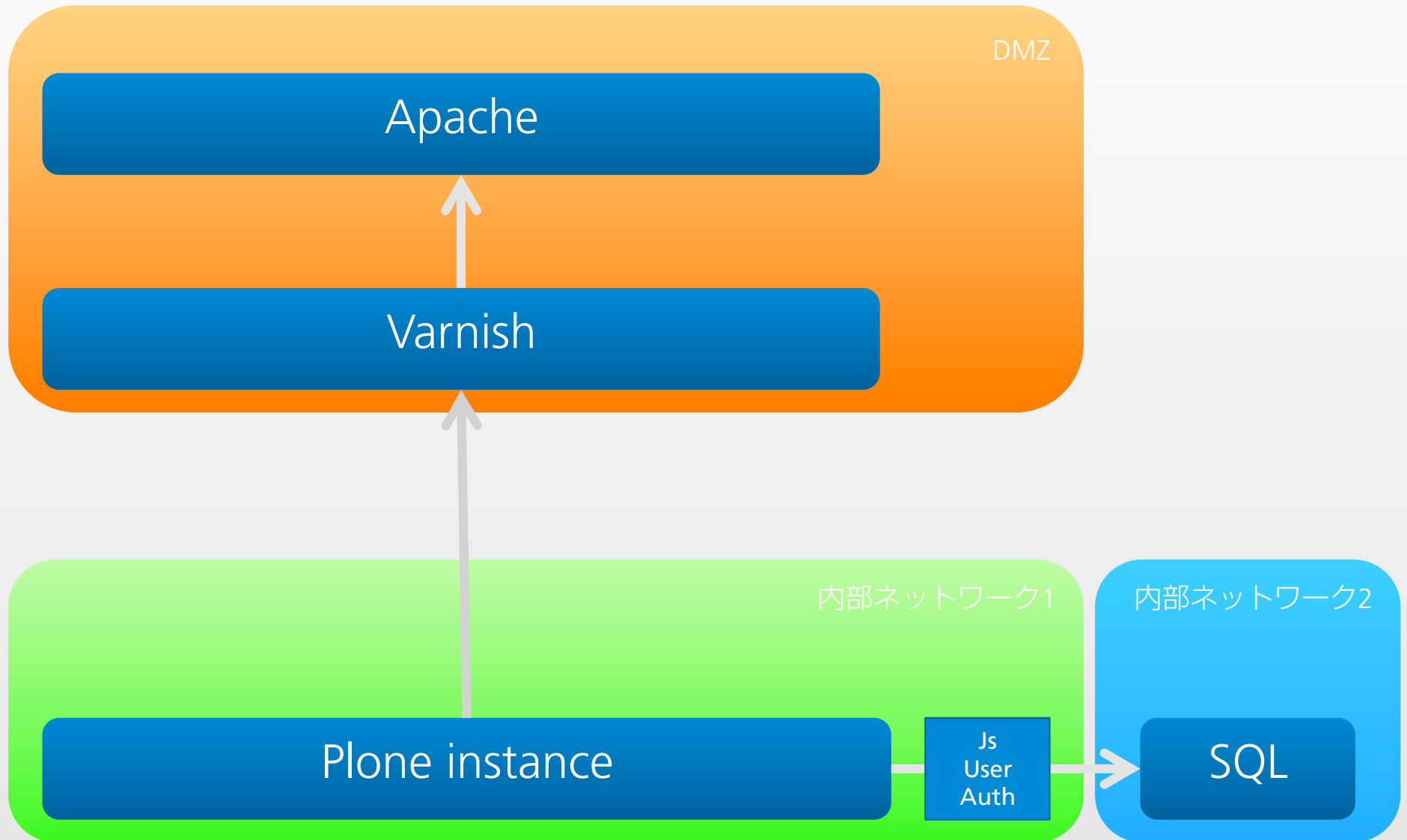
8081

8081

8082

Plone instance

論理構成



導入プロダクト

- Collage..... トップページなど一部のページで活用
- Doormat..... ドアマット機能の実装
- JsUserAuth..... SQLサーバとの顧客認証。CMSコミュニケーションズ社製カスタムプロダクト
- Plone Tableless..... Sunburstのいい部分を混在させて使用
- PloneFormGen..... 問い合わせフォーム用
- PloneHelpCenter..... カスタマサポート ナレッジベース用
- Related Items..... 「関連コンテンツ」表示ポートレット
- collective.prettyphoto..... イメージのポップアップ表示
- plone.app.caching..... Varnishとの連携
- collective.carousel..... 入れたけど使っていない

コンテンツメンテナンス

- 「カスタマサポート」以外の全コンテンツは丹羽がすべて制作・校正するため、ワークフローの活用などは特になし。
- カスタマサポートのナレッジベースはSEが記述して丹羽が校正し公開。ただし現段階ではワークフローは未導入 (導入予定)。

失敗談

- 「だいじょぶ」だと判断していきなり ".bin/buildout" して半日間サービスを止めました
 - 仕様としてはいきなりやってからサービスを再起動しても問題ないらしいですが、なにか (プロダクト?) が悪さをしてました
 - けっきょく元に戻らずにバックアップから戻すも、バックアップサービスも正しく動作せずにかかなり先祖返り.....
 - 1人でやってるので記憶をたどって復旧
- ディスク容量がいっぱいになって朝のログローテーションで起動失敗.....
 - しばらくは起きてからすぐにjscom.jpをチェックする習慣がつかきました

開発・マイグレーション

認証機能の実装 (2008-07 – 2009-03)

- カスタマサポートサイトの部分統合
 - 既存の顧客データベースとのリレーが必要に
 - CMSコミュニケーションズ殿に外注
- 1,500ページと3,000ファイル程度の手動移行
- 当時はSEから1名アサインを受け、システム開発とウェブ開発で分業を行う
 - が、自分でやったほうが早いんじゃないかといろいろ邪念を起こす
- 時間はかなりかかったが、稼働しているPloneへのプロダクト追加のため、ミス以外のトラブルはなし
 - SEも丹羽も別件に稼働を取られすぎた感じです

Plone 2.5 → Plone 3.3 (2009-06 – 2010-01)

- メジャーバージョンアップ作業
 - 段階を踏んでアップデートし、エラーコードを検索しまくったことでなんとか安定動作
- Varnishの導入
- blobの導入
 - ファイルのアップロード・ダウンロードがめっちゃくちゃ速くなった
- 引き続きCMSコミュニケーションズ殿に認証部分の対応とアドバイザリ業務を委託
 - 第一次導入時の不満点 (というよりPloneの仕様) を改修していただく (ねじ曲げてもらった)
- 担当SEが退職したことで、新たにアサインを受けることなく、邪念のとおり1人でやることに
 - ほかの業務もあるのでややのんびり推移
 - 8月末にプロダクトの納品を受けるものの、作業開始は12月から

デザイン比較

jscom.jp (第二次)

The screenshot shows the second design of the jscom.jp website. The header features the J's Communication logo and a navigation menu with items like '製品情報', 'サポート', 'イベント', 'ニュース', 'ジェイズ・コミュニケーションについて', and '採用情報'. A search bar is located in the top right. The main content area is divided into several sections: a left sidebar with a 'ホーム' menu, a central banner for 'Juniper SRX 5000 series debut!' featuring images of network hardware, and a right sidebar with '最新の変更' (Recent Changes) and '更新情報' (Update Information) sections. The '更新情報' section lists several security-related updates and news items with dates. At the bottom, there are security logos for '20000631(02)' and 'RapidSSL \$10,000 Warranty'.

jscom.jp (第三次)

The screenshot shows the third design of the jscom.jp website. The header is similar to the second design but with a more prominent navigation menu. The main content area features a large banner for 'Juniper SRX 5000 series' with the text 'いままでの常識を覆す。' (Overturning common sense) and 'powered by JUNOS'. Below the banner, there are sections for 'これから開催されるイベント・セミナー' (Upcoming Events/Seminars) and 'ニュースリリース (最新の4件)' (News Releases (Latest 4)). The 'ニュースリリース' section contains detailed security advisories and program announcements. The layout is more spacious and uses a blue and white color scheme. At the bottom, there are security logos for '20000631(02)' and 'RapidSSL \$10,000 Warranty'.

パートナーポータル開設 (2010-06 – 2010-07)

- jscom.jpとは別のPloneサイトを同一インスタンスに作成
 - 認証システムを完全に切り離すための対応
 - こちらは将来的にLDAP認証に移行予定
- Plone 3.3標準ではないメールアドレスでの認証を行うためのプロダクト導入
- コンテンツの新規制作
- CSSは共通のため、現運用はちょっとめんどくさい

Plone 3.3 → Plone 4 (2010-08 – 2010-12)

- メジャーバージョンアップ作業
- デザインのフルスクラッチ (CSS3の部分採用など)
- CMSコミュニケーションズ殿に認証部分の対応、アドバイザリ業務のほか、キャッシュに関するもアドバイザリ業務を委託
 - 速くしたかった (いまはまだ満足してません)
- スタート当初Plone 4はベータだったため、移行事例がかなり少ない
- けっきょく移行できず、荒技を使って移行
 - ZMIで新たにPloneサイトを作り旧Ploneサイトからデータをコピー。けっきょくほかの不具合が発生。寺田さんに泣きつく
- 一部プロダクトが非対応のため、似たようなプロダクトをさがしたり、諦めたり、ベータ版 (アルファ版) さがしたり.....

デザイン比較

jscom.jp (第三次)

The screenshot shows a website with a blue header and a main content area with a large blue banner. The navigation menu is located at the top right. The main banner contains the text: "ジェイズ・コミュニケーション パートナーポータル だいたいアカウント登録受付中! 2010年7月7日オープン!". Below the banner, there are several news items with dates and titles, such as "クールビズ実施のご案内" and "Cisco IronPort C370 / C670 / X1070電子メールセキュリティアプライアンスの販売を開始".

jscom.jp (現行のモックアップ)

The screenshot shows a modern website mockup with a dark grey header and a main content area. The navigation menu is located at the top right. The main content area features a large white banner with the text: "the all new Cisco IronPort security appliances." Below the banner, there are two images of Cisco IronPort security appliances. The page is divided into several columns with different content, including "プレスリリース", "メディアカバレッジ", and "おしらせ". At the bottom, there is a table with columns for "製品情報", "ソリューション", "カスタマサポート", "プレスリリース", "イベント", "企業情報", and "採用情報".

現在の課題

- さらなる高速化
- LDAP連携 (時間が.....)
- コンテンツの強化 (Ploneと直接関係ない).....
- ワークフローの社内導入
- 高度な冗長化

Ploneの不満点

- 遅い。Plone 4で速くなったとのことですが、やっぱりまだ遅い。Plone 3.3よりは速いけど。
- プロダクトが再起動なしに適用できるとうれしい。
 - 技術的なことは考慮していない発言です
- 日本語ローカライズの揺れ。
 - 言葉を扱う商売なのでちょっと気になります
 - 改善のためにお手伝いしたいとは思っているのですが.....
- いわゆる「特設サイト」を効率よく制作するためにはどうしたらいいものか.....
 - Ploneサイトで分けると、共有すべきCSSをいちいちコピペしないといけない

本日のまとめ

- 基礎的な運用レベルであればそれほど詳しくない者でもなんとかなった。
 - フルにハックしたい、とかでなければたぶんだいじょぶ
- それ以上のことをやりたい場合は、エキスパートとの分業、もしくは丸投げを検討すべき (運用のことを考えると前者を推奨)。
- バックアップはしっかり取りましょう。
- テストサーバは用意しましょう。ただし低スペックだとイラッとします。
- 不満があれば参加すればいいと思う。それがオープンソースだと思われれます。



J's
Communication

COMMUNICATION